

食料システムチーム＋行政チームで、みえるらべる商品の販売促進

みえるらべるのカット野菜を販売するにあたり、生産者、加工業者、卸業者、小売店すべてに行政で周知活動を行って、ともに消費者への販売促進を行うことを意思統一。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、農政の方向性

○ きっかけ・背景、課題の把握

みえるらべるの取組拡大に向け、生産者の掘り起こしを行う中、積極的な意思を示した生産者グループに対して、農林水産本省・九州農政局本局（どちらもオンライン）、県、市と連携して説明会を実施。ラベル貼付商品をその意義とともに消費者まで届けるためには、生産者、加工業者、卸売業者、小売店（本社長崎県）という食料システム全体への働きかけが必要であることを互いの共通認識となるよう取り組むことにした。

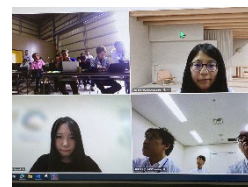
○ 取組の内容

生産者、その出荷先である加工業者、卸売業者、小売店が一堂に会した中、県、九州農政局本局と連携してみえるらべるの趣旨説明。その後、店頭で消費者に対してみえるらべるの説明が実施できるよう小売店の店舗主任への勉強会を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

生産者及び事業者には、みえるらべる商品の販売が、今後の営業戦略としても効果的と捉えていただいた。また、小売店では長崎県、佐賀県の54店舗で販促ポップ掲示とともに販売を開始。

今後、みえるらべるの品目拡大に向けて、新たに取り組む生産者の掘り起こしと事業者の拡大、消費者への働きかけをその品目に関わる関係者チームで推進していく。



生産者グループ
への説明会



小売店、卸売業者、
加工業者への説明



店舗主任会議での説明



店舗での販売

体制図

